

第2次磐田市文化芸術振興計画

～中間年の見直しについて～

令和6年3月

磐田市

1 計画見直しの背景

平成29年度に策定された第2次磐田市文化芸術振興計画では、「平成30年度から令和9年度までの10年間を計画期間とし、施策については計画の進捗や社会情勢の変化を踏まえ、5年程度で見直しを行います。また、新しい文化会館の完成後に文化芸術行政のあり方を再度検討し、本計画の修正を含めて検討します。」とされています。

今回の中間見直しはコロナ禍から徐々に文化芸術活動が再開され始め、新市民文化会館が開館して1年経過したことから見直しを行い、後半の磐田市の文化芸術振興の各事業を展開していくものです。

2 見直し案

中間見直しでは令和5年1月に実施した「磐田市の文化芸術についての市民アンケート調査」の結果から「第3章 文化芸術の推移と現状」および「第5章 取り組み」を見直します。なお、第5章については基本理念を実現するための4つの方針およびそれに伴う施策は変更せず、「事業例」を計画の進捗やアンケート結果などにより施策ごとに設定修正します。

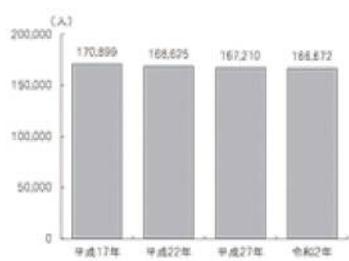
<中間見直し>

第3章 文化芸術の推移と現状

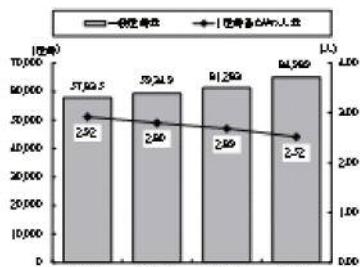
1 磐田市の推移と概況

本市の人口は令和2年10月1日時点では166,672人で、平成17年からならかな減少傾向がみられます。一般世帯数は、令和2年には64,969世帯で、1世帯当たりの人数は2.52人となっています。年齢別人口をみると、45～49歳の人口が最も多くなっています。在住外国人は、令和4年12月末時点での9,009人となっており、ブラジル国籍が5,147人で最も多くなっています。総数は前回の6,169人より2,800人ほど増加しています。

(1) 人口の推移



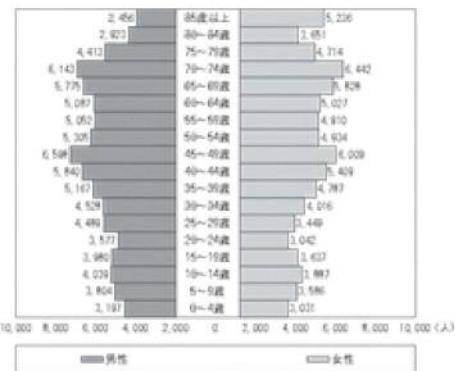
(2) 1世帯当たりの人員数の推移



(出典：総務省「国勢調査」)

(出典：総務省「国勢調査」)

(3) 年齢別人口



(出典：総務省「令和2年国勢調査」)

(4) 国籍別在住外国人

総数 (人)	ブラジル	フィリピン	ベトナム	中国	インドネシア	ペルー	タイ	韓国	ネパール	スリランカ	その他
9,009	5,147	1,375	650	458	409	263	155	106	57	54	335

出典：住民基本台帳（令和4年12月末時点）

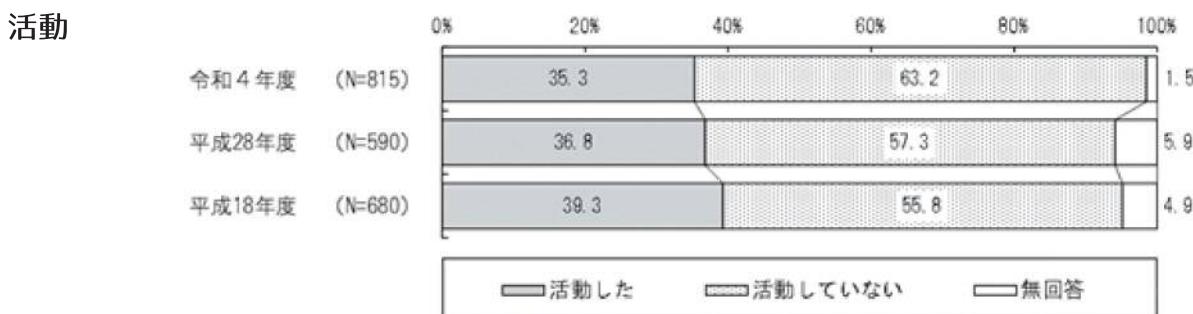
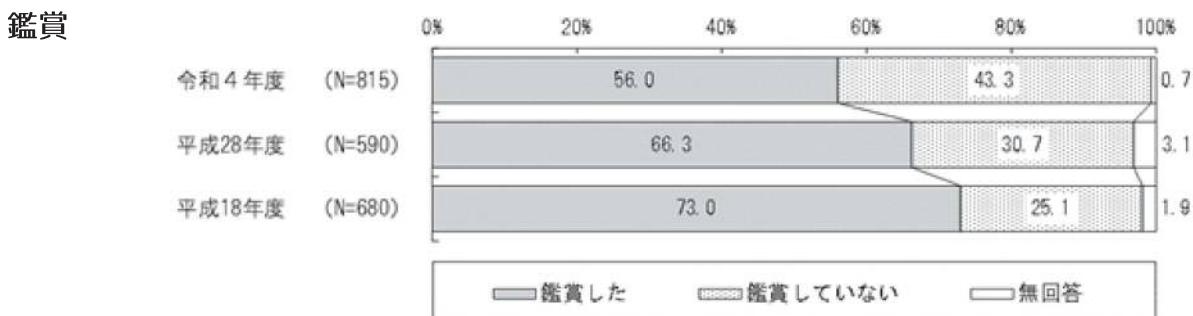
2 文化芸術に関する市民意識の推移

本節では、令和5年1月に実施した「市民アンケート」および「文化団体アンケート」の調査結果の中から重要な指標について掲載し、当初計画策定時の調査結果と比較し、分析しています。

		令和4年度	平成28年度
調査項目	市民	鑑賞・活動状況、磐田市の文化芸術行政など	
	団体	団体の概要、活動内容、磐田市の文化芸術行政など	
調査数	市民	2,000人	2,000人
	団体	330団体	289団体
回収数	市民	815人	590人
	団体	206団体	203団体
有効回収率	市民	40.8%	29.5%
	団体	62.4%	70.2%

(1) 鑑賞や活動などの状況（直近1年間）

市民アンケートによると、文化芸術をホールや美術館などで直接鑑賞している人は56.0%、活動している人は35.3%です。直接鑑賞の分野としては、「映画」「音楽」「美術」が上位を占めています。※前回同様創作など活動分野としては、「写真・映像」「カラオケ」「音楽」が上位を占めています。



鑑賞・活動分野の状況（直近1年間）

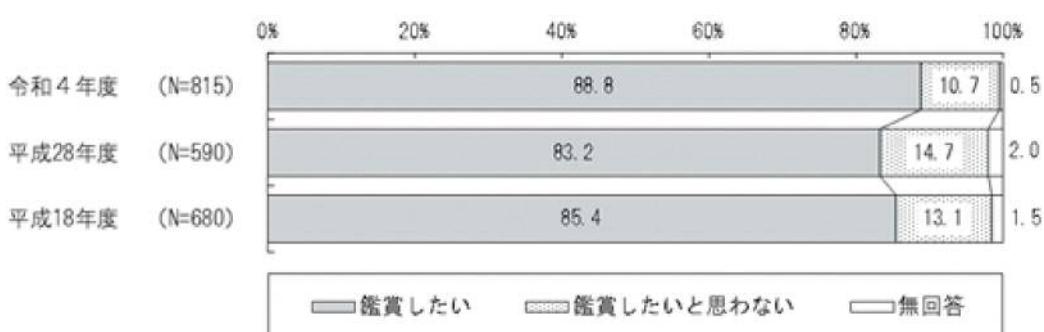
年度	直接鑑賞分野		活動分野	
	令和4年度	平成28年度	令和4年度	平成28年度
第1位	映画（32.5%）	映画（38.0%）	写真・映像（17.3%）	写真・映像（12.9%）
第2位	音楽（23.6%）	音楽（33.2%）	カラオケ（9.7%）	カラオケ（11.4%）
第3位	美術（20.9%）	美術（31.9%）	音楽（7.7%）	生活文化（9.5%）

注：生活文化とは、生け花、茶道、書道等のことを指す

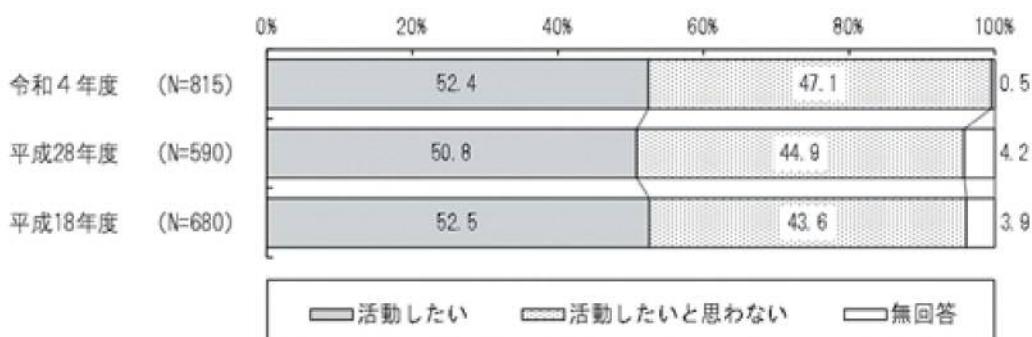
（2）今後の意向

今後、今以上に鑑賞をしたいと考えている人は88.8%（5.6%増）、活動したいと考えている人は52.4%（1.6%増）です。直接鑑賞を希望している分野としては、「音楽」「映画」「演劇・演芸」が上位を占めています。活動分野としては、「音楽」「写真・映像」「美術」が上位を占めています。直接鑑賞分野の上位3項目に変化はありませんが、活動分野は「写真・映像」と「美術」の順位が入れ替わりました。

鑑賞



活動



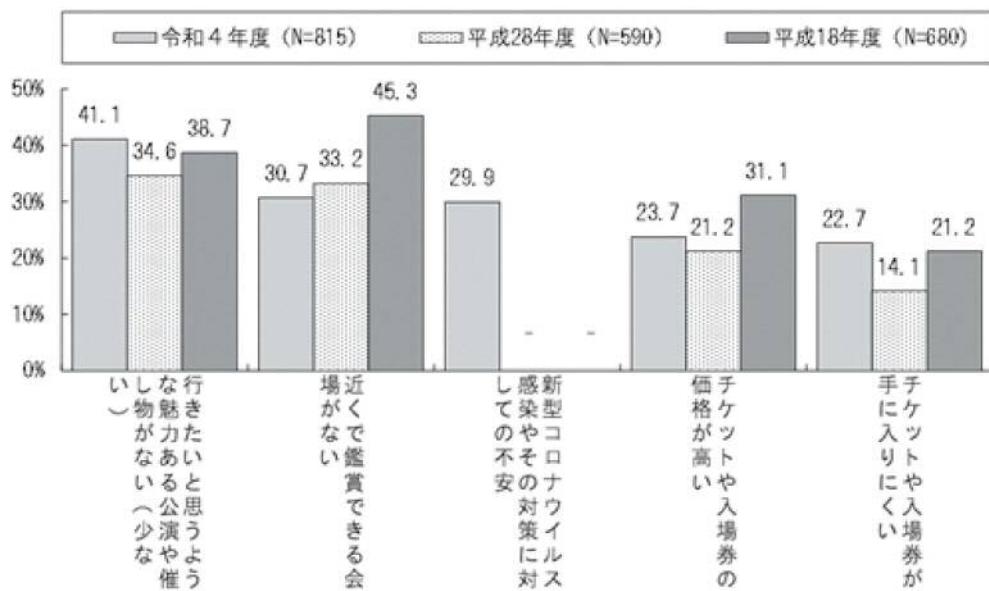
鑑賞・活動分野の状況（今後の意向）

年度	直接鑑賞分野		活動分野	
	令和4年度	平成28年度	令和4年度	平成28年度
第1位	音楽（66.0%）	音楽（49.3%）	音楽（21.6%）	音楽（16.6%）
第2位	映画（50.6%）	映画（41.4%）	写真・映像（20.0%）	美術（16.6%）
第3位	演劇・演芸（40.9%）	演劇・演芸（37.3%）	美術（15.5%）	写真・映像（16.4%）

(3) 課題

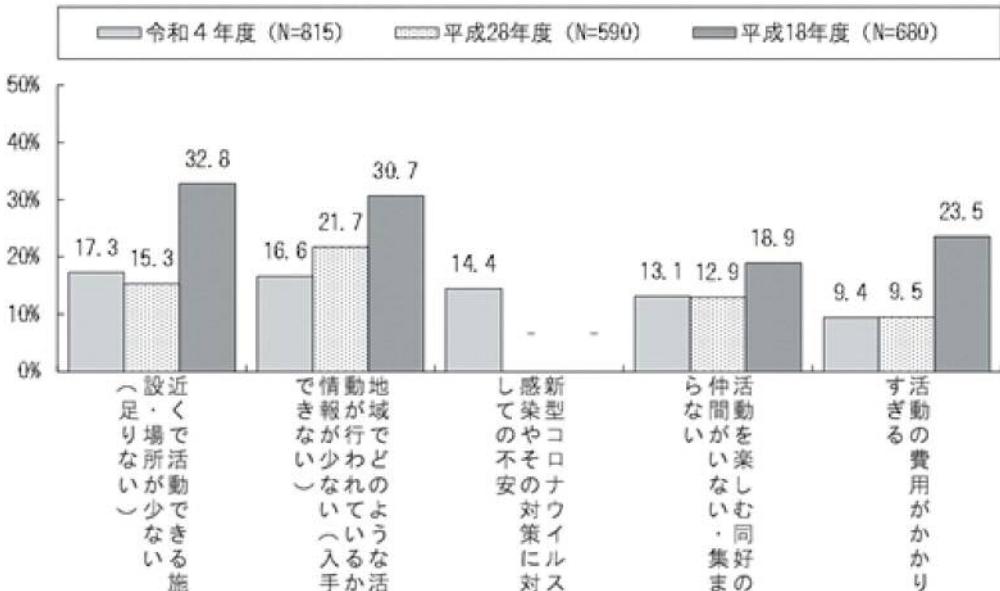
直接鑑賞の課題として、「魅力ある公演や催し物がない」が最も多く、「近くで鑑賞できる会場がない」、「新型コロナウイルス感染やその対策に対しての不安」と続いています。上位5項目に今回新たな設問とした「新型コロナウイルス感染やその対策に対しての不安」が新たに加わった一方、前回3位だった「公演や展覧会などの内容が分かる情報が少ない」がはずれています。

鑑賞



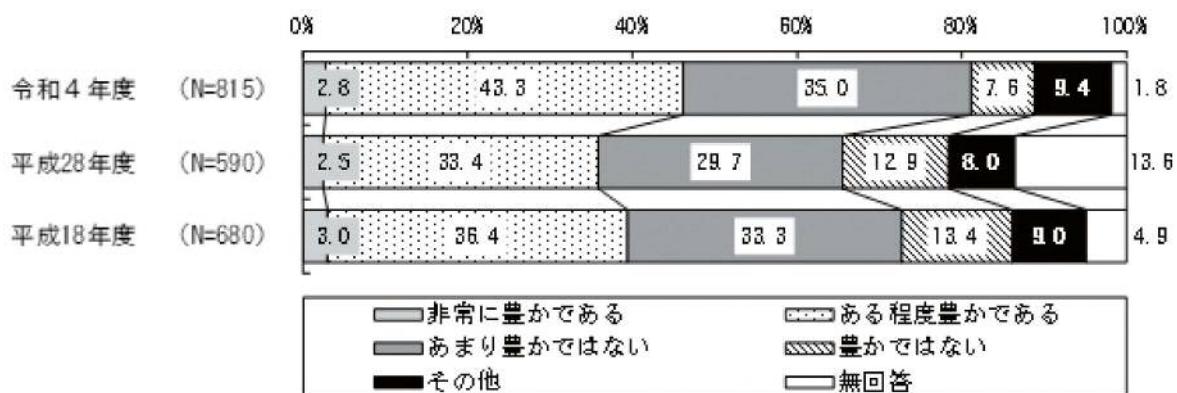
活動分野の課題としては、「近くで活動できる施設が少ない」が最も多く、「地域の活動情報が少ない」「新型コロナウイルス感染やその対策に対しての不安」と続いています。ただし「地域の活動情報が少ない」は減少傾向にあります。上位5項目に今回新たな設問とした「新型コロナウイルス感染やその対策に対しての不安」が新たに加わっています。

活動



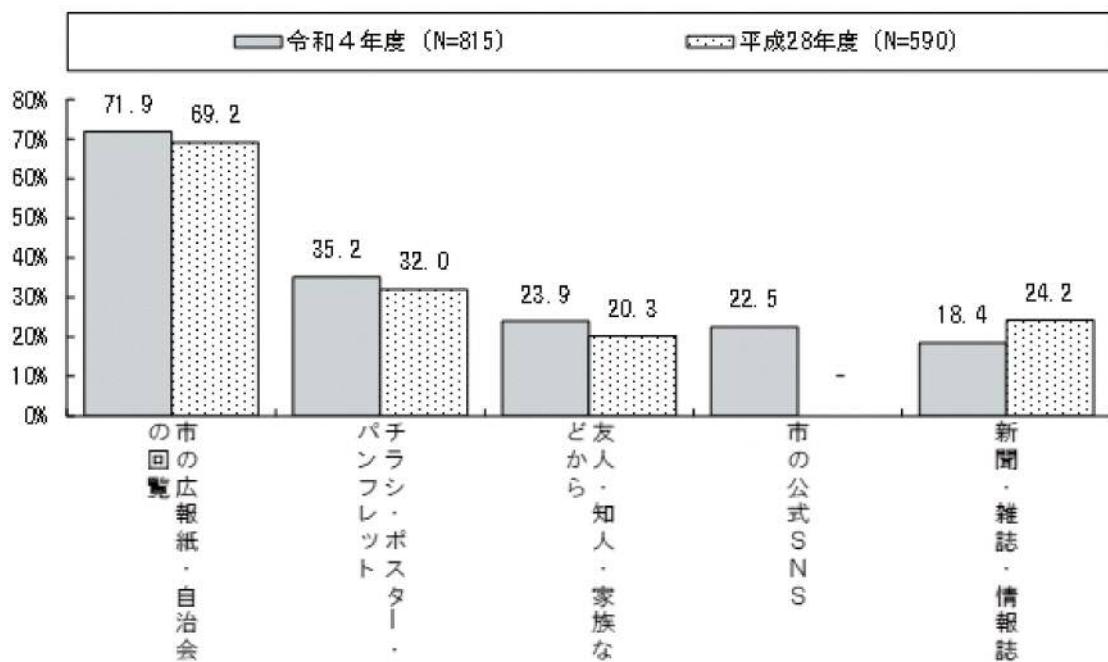
(4) 磐田市の文化芸術の現状

磐田市の文化芸術について、「ある程度豊かである」が最も多く43.3%（9.9%増）となっています。「非常に豊かである」と答えた人と合わせて46.1%を占めており、過年度と比較しても豊かであるとする市民が増加していることから事業等の実施効果の表れと考えられます。



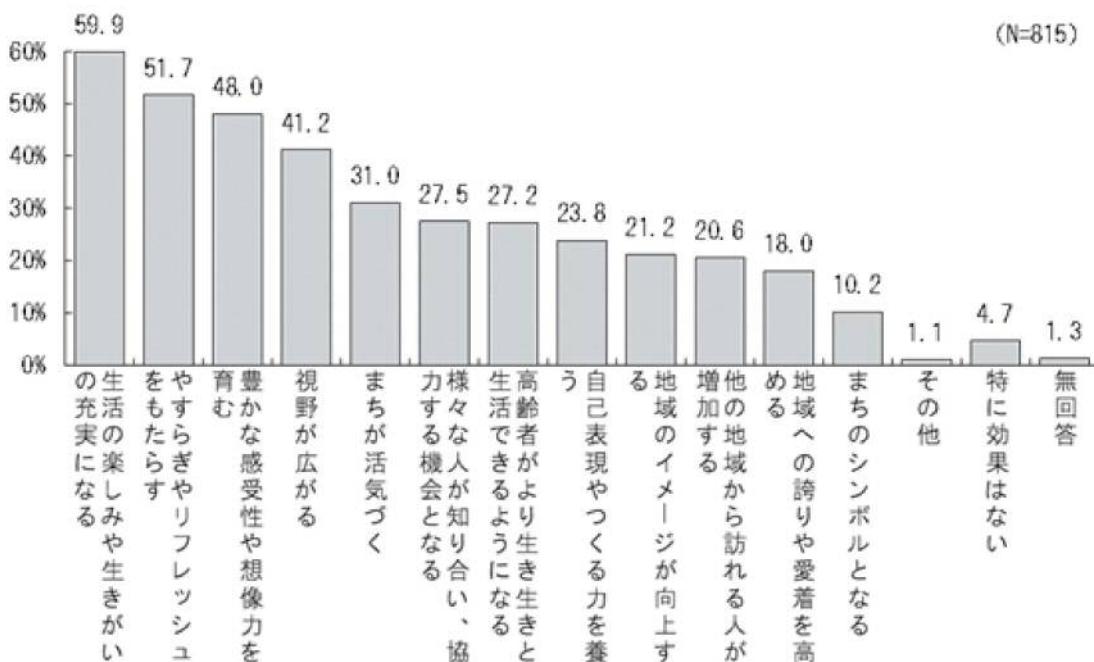
(5) 文化芸術に関する情報

磐田市内の文化芸術に関して、「市の広報・自治会の回覧」から情報を得ている人が71.9%（2.7%増）と最も多く、「チラシ・ポスター・パンフレット」が35.2%、「友人・知人・家族などから」が23.9%などとなっています。情報の媒体としては、「市の公式SNS」が22.5%ありますが、インターネットよりも紙媒体を主な情報源としている人が多いことが分かります。



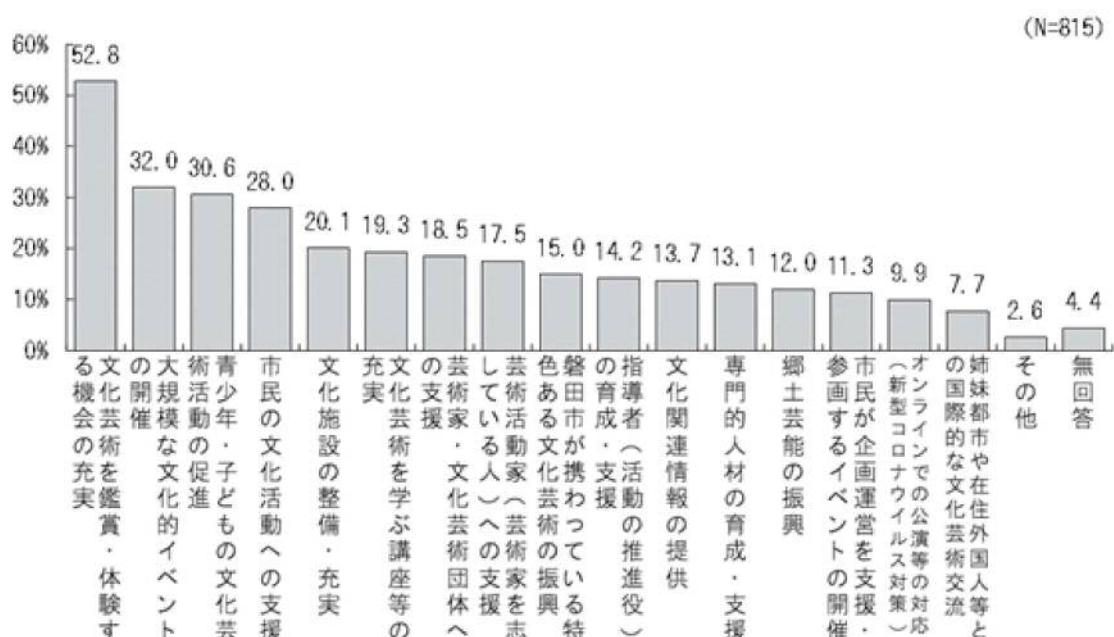
(6) 文化芸術の市民や地域への貢献

「生活の楽しみや生きがいの充実になる」と回答する人が最も多く、「やすらぎやリフレッシュをもたらす」「豊かな感受性や想像力を育む」「視野が広がる」など、市民一人ひとりの心を豊かにするために、日々の生活の中で文化芸術は欠かすことのできないものであることが分かります。また、「まちが活気づく」「様々な人が知り合い、協力する機会となる」「まちのシンボルとなる」など地域への貢献度も高いといえます。



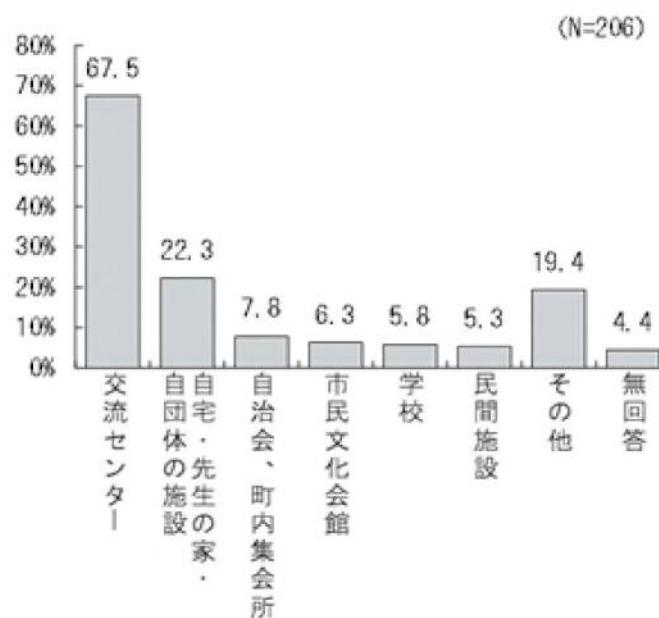
(7) 重点的に実施すべきこと

「文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実」「大規模な文化的イベントの開催」「青少年・子どもの文化芸術活動の促進」「市民の文化活動への支援」と続いている。 「大規模な文化的イベントの開催」が新たに上位に加わった一方、「文化施設の整備・充実」の順位が下がっていることは、あたりあが開館したことが影響していると考えられます。



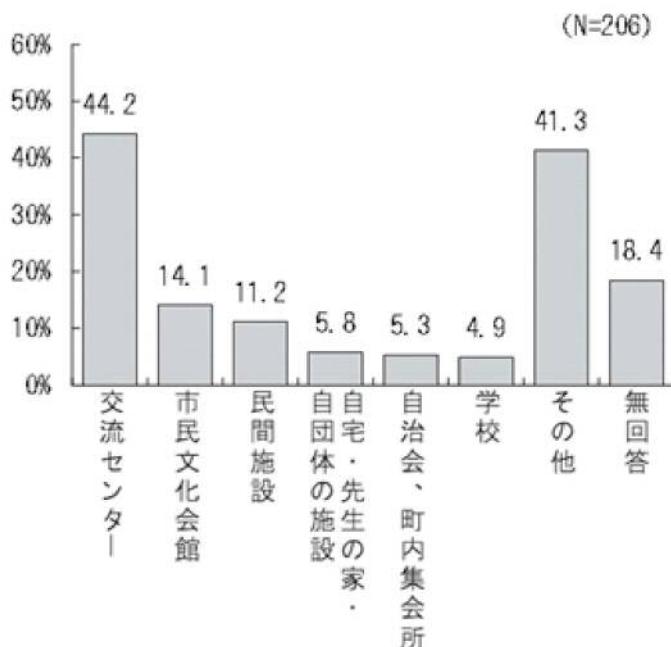
(8) 文化団体の活動拠点

文化団体が活動をする場所について、「交流センター」と回答する団体が67.5%と最も多い、次いで「自宅・先生の家・自団体の施設」が22.3%、「自治会、町内集会所」が7.8%となっています。



(9) 文化団体の発表場所

文化団体の発表・展示場所についても、「交流センター」と回答する団体が44.2%と最も多い、「市民文化会館」14.1%、「民間施設」11.2%と続いています。上位3項目に「民間施設」が新たに加わり、「自治会、町内集会所」が外れています。



3 文化芸術活動と文化芸術資源

(1) 文化芸術活動

市内では現在 79 団体、1,022 名が磐田市文化協会に加盟しています。また、211 団体が学びの友に加入しています。

文化団体数（※ 賛助会員は除く） 総数：1,022 団体

部門	団体数	人数	部門	団体数	人数
書の部	6	99	器楽の部	10	237
絵画連盟	10	86	洋舞連盟	10	194
写真連盟	1	37	箏・三味線・尺八の部	3	30
工芸連盟	4	24	詩吟・詩舞の部	4	59
短歌の部	2	20	日舞の部	2	14
俳句の部	4	32	民踊・民舞の部	2	18
いけばなの部	8	46	郷土芸能の部	3	45
園芸の部	1	21	郷土研究の部	2	3
合唱の部	6	45	茶道の部	1	12

学びの友加入団体数 総数：211 団体

ジャンル	団体数	ジャンル	団体数
文化	40	子育て	5
美術	11	交流	9
ダンス	6	教育	10
体操	17	音楽	28
スポーツ	56	健康・福祉	2
趣味	7	語学	1
手芸	17	芸術	2

(2) 文化芸術資源

公立の文化芸術施設について、令和4年7月30日に開館した磐田市民文化会館「かたりあ」をはじめ、ホール、展示施設、博物館、能舞台など幅広い分野にわたる施設が立地しています。また、地域の文化活動の場としても交流センターが重要視されています。

4 磐田市の文化芸術の現状・特色・課題

これまでの取り組みと実績、統計調査、市民アンケート、文化団体アンケートなどから、本市の文化芸術の特長と課題は次のとおりです。

(1) 市民

前回調査から直接鑑賞している市民の割合は減少しているものの「今後、今以上に鑑賞をしたい」と考えている市民の割合が増加していること、磐田市の文化芸術が「ある程度豊かである」と感じている市民の割合が増加していることから、令和4年7月30日に磐田市民文化会館「かたりあ」が開館したことが要因の一つと推測されます。

活動・制作の分野では、「写真・映像」が前回同様に割合が最も多くなっています。これはスマートフォンやSNS等の普及やコロナ禍により他人と接することなく活動できる分野が注目されたことによる結果であると考えられます。

文化活動の意向については、「鑑賞したい・活動したい」ともに前回から増加傾向にあることから、今後鑑賞や活動する機会を充実させていくことが重要であるといえます。

課題については、鑑賞分野・活動分野ともに今回新たに加わった「新型コロナウイルス感染やその対策に対しての不安」が上位項目に入るという時代を反映した結果になっているため、これに関しては引き続き必要に応じた感染対策を十分に行なうことが重要と考えられます。また依然として、鑑賞分野では「魅力ある公演や催し物がない」、活動分野では「近くで活動できる施設が少ない」が最も多くなっていることから、市民の関心の高い催し物の調査や実施、活動場所の充実等を図っていく必要があります。

文化団体については、練習場所、発表場所とともに交流センターが群を抜いて多く、前回から引き続き文化活動の拠点は交流センターであるといえる一方で、発表場所については民間施設の割合が増加していることから民間施設の地域貢献や文化に対する理解が増加していることが推測されます。

活動目的としては、前回同様「メンバーの楽しみ」、「親睦」の割合が多くなっています。

文化団体の課題としては、会員数の多少に関わらず、メンバーの高齢化や新たなメンバーの確保が課題となっています。これは高齢化社会の問題もありますが、文化の継承の視点からみても各団体で解消に向けて対策をしていかなければいけない現状を表していると考えられます。

(2) 行政

本市の文化芸術の現状は「非常に豊かである」及び「ある程度豊かである」の項目が増加傾向にあることから、第2次文化芸術振興計画に沿い実施してきた施策の効果の表れであると考えられます。そして、文化芸術を核にした地域づくりを進める際に重点的に実施すべきこととして「鑑賞・体験する機会の充実」が最も多い意見である中で、令和4年7月30日に市民文化会館「かたりあ」が開館したことにより今後さらなる文化芸術活動の発展をさせていくことが重要と考えられます。

市民の中には特に若年層で「文化の発信情報が少ない・届かない」と感じている人もいることから、引き続き情報発信の充実が行政の課題となっていると考えられます。また、年代によって文化活動の課題も異なり、ターゲットを絞った施策を展開させることも重要と思われます。「市の広報・自治会の回覧」から情報を得ている市民が多いため、ホールガイドの見直し等により情報がさらに見やすく届きやすい環境を作り上げていくことが重要だと考えられます。

第5章 取り組み

計画では、本市の特徴と課題を踏まえて、基本理念である「感動と育成の文化芸術のまち」を実現するために、次の4つの方針に基づき施策を展開し、各方針で施策を掲げるとともに、事業例を挙げています。

今回の見直しでは、令和5年1月に実施したアンケート結果より、4つの方針と各々の施策については継続し、施策を進めていくための今後5年間の実施内容を掲げています。

<基本理念>

感動と育成の文化芸術のまち

<4つの方針>

1. 次代の文化芸術を担う青少年等の育成を図る「感動する心を育み継承する」
2. 優れた文化芸術を創造・鑑賞・体験する機会を充実する「感動のひとときをともにつくる」
3. 地域の文化芸術活動をしやすい環境をつくる「感動の創造を支援する」
4. 文化芸術をまち中で活かす「感動をまちに広げる」

方針1 次代の文化芸術を担う青少年等の育成を図る「感動する心を育み継承する」

青少年が、優れた文化芸術に触れ、文化芸術活動ができる環境をつくり、次代の磐田の文化芸術を担う子どもが心豊かに育ち、創造力を養うことのできる機会を提供します。

施 策

○ 子ども向け公演・ワークショップ・講座

子どもが、優れた文化芸術に触れることができるように、子どもや親子を対象とした公演等を行います。また、芸術家と直接話したり実際に演奏・演技等を体験できるワークショップを開催し、ともに作品を作り上げる参加型の企画を実施するなど、子どもの関心や理解を引き出す工夫を図ります。

[実施内容]

- ・ファミリー向けコンサート、演劇等の開催
- ・子どもたちのダンスワークショップ、ホール発表会の開催

○ 青少年の創造活動の支援

青少年が、演奏や演技をしたり、作品を創作する活動等を支援するために、芸術家や専門家から指導を受ける機会を設けます。特に、総合舞台芸術作品など、みんなで一緒になって作品を創造・発信し、本市の青少年の文化芸術活動を牽引していく取り組みを支援します。

[実施内容]

- ・子どもたちのミュージカルの基礎練習や公演等の実施

○ 音楽・演劇等の指導者・芸術家等の派遣

青少年の文化芸術の創作活動に大きな役割を担っている学校の部活動等を対象に、音楽や演劇等の指導者や芸術家を派遣し、技術の向上や意欲の喚起を図り、自発的な文化芸術の発達を支援します。

[実施内容]

- ・吹奏楽のクリニックの開催
- ・器楽指導者の派遣
- ・高校演劇クリニックの開催

○ 学校等での授業や部活動における体験・学習・活動の支援

学校における音楽・美術（図画工作）の授業や、学校鑑賞会・文化祭において、作品の学習、鑑賞、創作、発表等を支援します。また、より学習を深めたい児童・生徒を対象に、部活動やクラブ等において効率的な文化芸術活動の支援をします。

[実施内容]

- ・市内3バンドの演奏指導、演奏会活動
- ・全国大会出場者への支援
- ・伝統文化の出前講座の充実（新規）
- ・部活動の地域移行に向けた支援協力の検討（新規）

方針2 優れた文化芸術を創造・鑑賞・体験する機会を充実する「感動のひとときをともにつくる」

優れた文化芸術が感動を呼び起します。公演、展示など様々な分野で優れた文化芸術を創造・鑑賞・体験する機会をつくり、感動が市民一人ひとりの心を豊かにするひとときをつくります。

施 策

○ 創造・鑑賞事業

音楽、演劇、舞踊、映像、伝統芸能など、市民が優れた文化芸術を創造し、鑑賞できるように、文化施設等で、幅広い分野の作品の公演に取り組みます。また、交流センター等で市民が身近に芸術文化作品を鑑賞できるよう支援します。なお、鑑賞作品の選定においては重点テーマを設定し、市民の鑑賞力の向上を図ります。

[実施内容]

- ・音楽、演劇、能・狂言、寄席等、質の高い公演を開催
- ・SNSを活用したイベント情報の充実による認知度アップ（新規）
- ・県のグランシップ事業など、他機関と連携した事業の実施（新規）

○ 展示事業

絵画、工芸、写真、現代アート、香り、書道、華道などの作品が創造・鑑賞できるように、香りの博物館、新造形創造館等の展示施設で展示事業を行います。

[実施内容]

- ・香りの博物館、新造形創造館での展示の充実
- ・「長藤ギャラリー」の活用
- ・新たな展示施設の整備の検討（新規）

○ 芸術鑑賞・体験講座

芸術作品をわかりやすく説明したり、より深い理解への手立てとなる芸術鑑賞講座やレクチャーコンサート、創作を実際に体験できるワークショップを開催するなど、より多くの人が優れた文化芸術を創造・鑑賞・体験する機会をつくります。

[実施内容]

- ・香りの博物館、新造形創造館関連事業等の充実による文化芸術を鑑賞、体験できる自主事業や講座の開催
- ・文化協会等との連携による体験講座等の開催（新規）
- ・プロによる公演前の講座やワークショップの実施
- ・熊野伝統芸能館における定期的な能・狂言の公演の開催

方針3 地域の文化芸術活動をしやすい環境をつくる「感動の創造を支援する」

文化芸術団体、芸術家などが活動しやすい環境をつくり、感動を分かち合い、感動を伝える文化芸術活動を創造するまちをつくります。

施 策**○ 市民の連携の促進**

市内の文化芸術団体の連携を促進するため、市内の様々な文化芸術関係者が協力して取り組む活動や事業を支援します。また、市民の創作等の発表の機会を支援します。

[実施内容]

- ・ダンスや音楽の参加型事業の開催
- ・市民の創作活動等の発表の場を提供
- ・磐田文化サポーターによるイベント・公演の運営等支援の充実（新規）

○ 自発的活動と創造連携の促進

感動の創造とともに関わり、仲間との連携で創作の輪を広げ、自発的な文化活動を通して感動を伝える文化芸術活動の支援をします。

[実施内容]

- ・静岡県高校ダンス部コンテスト in 磐田の開催（新規）

○ 公益文化芸術活動の促進

まちづくり・福祉・教育など、公益的な活動をする市内の団体の活動が充実したものとなるように、公募助成、PR支援、後援等の効果的な制度づくりに取り組みます。

[実施内容]

- ・定期的なホールガイドの発行
- ・市民文化会館ホームページ等による市内団体の活動のPR支援（新規）

方針4 文化芸術をまちなかで活かす「感動をまちに広げる」

文化芸術施設の中だけでなく、様々な分野と連携をとり、磐田市のまちなかで文化芸術を活用し、たくさんの元気と笑顔があふれる、文化のまちを創出します。

施 策**○ 伝統文化の振興**

伝統芸能など、先代から継承されてきた磐田の伝統文化の保存・継承・活用を図ります。

[実施内容]

- ・磐田能や磐田寄席等の伝統文化公演や能楽教室等の講座の開催

○ 文化芸術を介した相互理解による多文化共生の推進

多文化共生を推進するため、外国人が日本文化を学んだり、日本人が他国文化を学ぶ際に、音楽、美術、映像作品等を介して、相互理解ができる環境を広げていきます。

[実施内容]

- ・他国文化を学ぶ公演や講座の開催

○ まちなかでの文化活動の推進、観光との連携

文化芸術を地域づくりに活用するために、まちなかや歴史的建造物における公演等の開催、特徴的な文化資源・イベント等のPRと誘客を図ります。

また、自発的に文化活動が広がるよう、市民が関わる文化芸術活動を支援します。

[実施内容]

- ・市民文化会館「かたりあ」を含む周辺施設と連携した文化芸術の発信（新規）
- ・まちなかでの地元音楽家・バンド等のコンサートの開催
- ・伝統芸能や歴史的なまちなかにおける芸術作品の公演や展示

